



熊谷市立佐谷田小学校

木村 浩

一 学校の沿革

明治二十二年六月一日 戸出金錫寺に開校

校名を佐谷戸学校とする

昭和二十二年四月 学制改革で六・三制となり、

校名を佐谷田小学校とする

昭和五十三年三月 上越新幹線工事のため現

在地に移転校舎・体育館竣工

昭和六十三年五月 開校百周年記念式典・事

業を行う

令和元年十月 埼玉・教育ふれあい賞受賞

令和三年十一月 熊谷市教育特別賞受賞

本校は、明治六年、当時の佐谷田村に佐谷田学校、平戸村に平戸学校が設置された後、村の統廃合に

伴う学校の廃校や編入を経て、明治二十二年六月に佐谷戸学校が創立された。埼玉県・熊谷市の魚であり埼玉県の天然記念物である「ムサシトミヨ」の保護と増殖活動に、久下小と熊谷東中とともに取り組んでいる。昭和六十二年から始められた増殖活動の総計は、令和五年までで八七九〇匹となった。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

漢字の「田」を八個のカタカナの「サ」が円形に囲む形でできていることで、「サヤダ」を表現していると考えられる。

2 校歌

子どもたちが、きびしさを自ら課しつつも、おおらかに伸び伸びと生活して希望をもてることや、空気がさわやかで、水清らかな佐谷田の地が、いつまでも子どもたちの理想の象徴であってほしいという願いが込められている。

【参考 開校百年記念誌】

